

みどりの主な機能

機能1 環境保全

みどりは、快適でうるおいのある都市環境の創造、貴重な動植物の生息生育空間の保全、都市気候の緩和等、自然との共生や環境への負荷を低減する役割を果たします。



機能2 レクリエーション

みどりは、日常的、広域的なレクリエーション活動に対応した、自然とふれあうことのできる余暇空間を提供する役割を果たします。



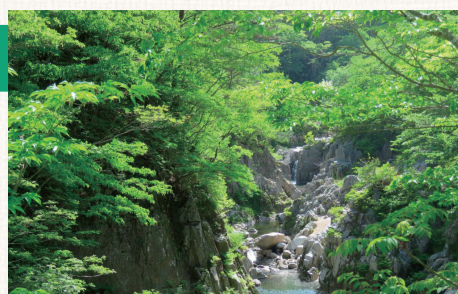
機能3 防災

みどりは、災害の防止あるいは災害時における避難路、避難場所の形成、災害に強い都市構造の形成や多様な防災活動拠点の確保等の役割を果たします。



機能4 景観形成

みどりは、郷土景観を形づくるみどり、市街地内のシンボルやランドマークとなるみどりなど、特色あるまちづくりに役立つ都市景観上の役割を果たします。



機能5 産業

みどりは、水源涵養機能による豊かな土壌の形成、特徴的な景観を生み出すことで観光資源となるみどり、産業公害を防止するみどりなど、いわき市の多様な産業活動を支える役割を果たします。



みどりの現況と課題

みどりの【量】的課題

- ・みどりの管理状況に対する満足度は、低い傾向にあります。
- ・人による利用・管理が必要なみどりは、減少傾向にあります。



課題1

みどりを保全し、適切な維持管理を実施する必要があります。

- ・みどりの配置をみると、山林、農村部では、十分にある一方、まちなかでは、少なくなっています。
- ・地域ごとにみどりの配置状況に、差が生じています。



課題2

みどりが不足する区域に重点的にみどりを配置する必要があります。

みどりの【質】的課題

- ・積極的なみどりの創出ではなく、みどりの質の向上が求められています。
- ・既存のみどりの機能が市民ニーズと合致していない可能性があります。



課題3

既存のみどりの魅力・機能を向上させる必要があります。

- ・身近なみどりは、地域が主体となり、管理すべきと考えているが、実際の管理活動への参加率は低い状況にあります。
- ・官民連携によるみどりの管理・活用に係る様々な制度が創設されています。



課題4

多様な主体によるみどりの管理・活用を推進する必要があります。

基本理念

約20年前の計画策定時は、「開発によるみどりの喪失」を大きな課題としていたため、みどりの積極的な保全・創出を行うことで、開発とみどりのバランスがとれた市を目指すこととし、理念として「豊かな水と緑と調和する都市・いわき」を掲げました。

一方、今回の計画では、「地域ごとの状況に合わせたみどりの配置」「適切な維持管理」等、みどりの量の増加よりも質の向上が大きな課題になっていると考えられます。また、みどりに求められるニーズも変化していることから、多様な主体と連携し、共にみどりを創っていくことが重要です。

これらにより、本計画では以下を基本理念のテーマに掲げます。

きら
煌めくみどりを共創する都市・いわき